

平成30年第4回大仙市議会定例会会議録第1号

平成30年11月27日（火曜日）

議事日程第1号

平成30年11月27日（火曜日）午前10時00分開議

第1 会議録署名議員の指名

第2 会期の決定（21日間）

第3 議長報告

- ・専決処分報告（法第180条関係）
- ・請願に係る処理の経過及び結果について（報告）
- ・財政援助団体等監査の結果について
- ・例月現金出納検査結果
- ・議会動静報告書

第4 市政報告

第5 議案第96号 平成29年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決)

第6 議案第97号 平成29年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決)

第7 議案第98号 平成29年度大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決)

第8 議案第99号 平成29年度大仙市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決)

第9 議案第100号 平成29年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決)

第10 議案第101号 平成29年度大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決)

第11 議案第102号 平成29年度大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決)

- | | | |
|-------|-------------|--|
| 第 1 2 | 議案第 1 0 3 号 | 平成 2 9 年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 1 3 | 議案第 1 0 4 号 | 平成 2 9 年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 1 4 | 議案第 1 0 5 号 | 平成 2 9 年度大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 1 5 | 議案第 1 0 6 号 | 平成 2 9 年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 1 6 | 議案第 1 0 7 号 | 平成 2 9 年度大仙市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 1 7 | 議案第 1 0 8 号 | 平成 2 9 年度大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 1 8 | 議案第 1 0 9 号 | 平成 2 9 年度大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 1 9 | 議案第 1 1 0 号 | 平成 2 9 年度大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 2 0 | 議案第 1 1 1 号 | 平成 2 9 年度大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 2 1 | 議案第 1 1 2 号 | 平成 2 9 年度大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 2 2 | 議案第 1 1 3 号 | 平成 2 9 年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 2 3 | 議案第 1 1 7 号 | 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 2 4 | 議案第 1 1 8 号 | 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 2 5 | 議案第 1 1 9 号 | 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |

- | | | |
|-------|-------------|--|
| 第 2 6 | 議案第 1 2 0 号 | 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 2 7 | 議案第 1 2 1 号 | 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 2 8 | 議案第 1 2 2 号 | 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 2 9 | 議案第 1 2 3 号 | 内小友財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 0 | 議案第 1 2 4 号 | 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 1 | 議案第 1 2 5 号 | 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 2 | 議案第 1 2 6 号 | 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 3 | 議案第 1 2 7 号 | 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 4 | 議案第 1 2 8 号 | 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 5 | 議案第 1 2 9 号 | 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 6 | 議案第 1 3 0 号 | 大川西根財産区管理会財産区管理委員の選任について
(説明・質疑・討論・表決) |
| 第 3 7 | 議案第 1 3 1 号 | 大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決) |
| 第 3 8 | 議案第 1 3 2 号 | 大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決) |

- 第 3 9 議案第 1 3 3 号 大仙市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を
改正する条例の制定について
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 0 議案第 1 3 4 号 平成 3 0 年度大仙市一般会計補正予算 (第 5 号)
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 1 議案第 1 3 5 号 平成 3 0 年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第
1 号)
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 2 議案第 1 3 6 号 平成 3 0 年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1
号)
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 3 議案第 1 3 7 号 平成 3 0 年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算 (第 1
号)
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 4 議案第 1 3 8 号 平成 3 0 年度大仙市上水道事業会計補正予算 (第 1 号)
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 5 議案第 1 3 9 号 平成 3 0 年度大仙市簡易水道事業会計補正予算 (第 2 号)
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 6 議案第 1 4 0 号 平成 3 0 年度大仙市下水道事業会計補正予算 (第 2 号)
(説明・質疑・委員会付託・委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 7 議案第 1 4 1 号 大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関
する条例の一部を改正する条例の制定について (説 明)
- 第 4 8 議案第 1 4 2 号 秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
(説 明)
- 第 4 9 議案第 1 4 3 号 大仙市協和モーターサイクル場の指定管理者の指定について
(説 明)
- 第 5 0 議案第 1 4 4 号 大仙市南外体育館等の指定管理者の指定について (説 明)
- 第 5 1 議案第 1 4 5 号 大仙市ふれあい体育館等の指定管理者の指定について
(説 明)
- 第 5 2 議案第 1 4 6 号 南外ふれあいパークの指定管理者の指定について (説 明)

出席議員（28人）

1 番 高 橋 幸 晴	2 番 小笠原 昌 作	3 番 三 浦 常 男
4 番 佐 藤 隆 盛	5 番 挽 野 利 恵	6 番 秩 父 博 樹
7 番 石 塚 柏	8 番 富 岡 喜 芳	9 番 本 間 輝 男
1 0 番 藤 田 和 久	1 1 番 佐 藤 文 子	1 2 番 小 山 緑 郎
1 3 番 小 松 栄 治	1 4 番 後 藤 健	1 5 番 佐 藤 育 男
1 6 番 古 谷 武 美	1 7 番 児 玉 裕 一	1 8 番 佐 藤 芳 雄
1 9 番 高 橋 徳 久	2 0 番 橋 本 五 郎	2 1 番 渡 邊 秀 俊
2 2 番 佐 藤 清 吉	2 3 番 金 谷 道 男	2 4 番 大 山 利 吉
2 5 番 鎌 田 正	2 6 番 高 橋 敏 英	2 7 番 橋 村 誠
2 8 番 茂 木 隆		

欠席議員（0人）

遅刻議員（0人）

早退議員（0人）

説明のため出席した者

市 長 老 松 博 行	副 市 長 佐 藤 芳 彦
副 市 長 西 山 光 博	教 育 長 吉 川 正 一
代表監査委員 福 原 堅 悦	上下水道事業者 今 野 功 成
総 務 部 長 舩 谷 祐 幸	企 画 部 長 五十嵐 秀 美
市 民 部 長 佐 川 浩 資	健康福祉部長 加 藤 実
農 林 部 長 福 田 浩	経 済 産 業 部 長 高 橋 正 人
建 設 部 長 古 屋 利 彦	災害復旧事務所長 進 藤 孝 雄
病 院 事 務 長 富 樫 公 誠	教育指導部長 高 野 一 志
生涯学習部長 安 達 成 年	総務部次長兼 総 務 課 長 福 原 勝 人

議会事務局職員出席者

局	長	加藤博勝	参	事	進藤稔剛
主	幹	富樫康隆	主	席主査	佐藤和人

午前10時00分 開 会

○議長（茂木 隆） おはようございます。

これより平成30年第4回大仙市議会定例会を開会いたします。

市長から招集の挨拶があります。老松市長。

【老松市長 登壇】

○市長（老松博行） おはようございます。

本日、平成30年第4回大仙市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご参集をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、今次定例会におきましてご審議をお願いいたします案件は、人事案14件、条例案4件、単行案5件、補正予算案8件の合計31件であります。

このうち、議案第117号から議案第140号までの内小友・大川西根の各財産区管理委員に係る人事案並びに国の人事院勧告を受けた国家公務員の給与改定に倣い実施する本市一般職などの給与等の改定に関する条例案及び補正予算案につきましては、本会議初日に採決をお願いするものであります。

また、大曲中学校水泳プール改築工事の設計変更に係る補正予算案につきましては、準備が整い次第、追加提案させていただきたいと存じます。

各案件につきまして、よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げまして、招集の挨拶とさせていただきます。

【老松市長 降壇】

午前10時01分 開 議

○議長（茂木 隆） これより本日の会議を開きます。

○議長（茂木 隆） 本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

○議長（茂木 隆） 日程第１、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第８８条の規定により、議長において６番秩父博樹君、
７番石塚柏君、８番富岡喜芳君を指名いたします。

○議長（茂木 隆） 日程第２、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期定例会の会期は、本日から１２月１７日までの２１日間とい
たしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって、会期は２１日間と決定いたしまし
た。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第３、この際、諸般の報告をいたします。

議会の委任による専決処分報告及び請願にかかわる処理の経過及び結果についてが市
長から、財政援助団体等監査の結果について及び例月現金出納検査結果が市監査委員か
ら提出されております。

また、９月定例会初日から昨日までの議会動静報告書を、別添お手元に配付のとおり
報告いたします。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第４、市長から市政報告の申し出がありますので、これ
を許します。老松市長。

【老松市長 登壇】

○市長（老松博行） 平成３０年第４回大仙市議会定例会に当たり、諸般の状況について
申し上げます。

はじめに、韓国^{たんじん}唐津市との友好交流についてであります。

唐津市とは、両市の伝統文化であります「綱引き」を通じて、平成１９年８月に「友
好交流に関する協定」を締結しており、昨年度、協定締結から１０周年を迎えておりま
す。

両市では２年をかけて記念事業を開催することとしており、昨年度は唐津市で開催し
ていただき、本年度は１０月１２日と１３日の両日、唐津市長や同市議会議長など１８
人の訪問団をお迎えし、本市で１０周年を祝う催しを開催しております。

大曲市民会館小ホールで開催した記念式典では、地元選出の県議会議員をはじめとしたご来賓の皆様、議員各位、刈和野大綱引保存会の代表者、経済団体の関係者のほか、次代の交流を担う西仙北小中学校の児童生徒など約３５０人にご出席をいただき、刈和野大綱太鼓及び大仙市民謡愛好会による記念公演など行っております。また、西仙北地域で開催しました記念行事については、両市の関係者のほか、西仙あおぞらこども園の園児をはじめ、地域住民の皆様にも参加をいただき、「友好道路看板除幕式」「記念植樹」「記念碑除幕式」を執り行ったほか、「^{きじ}機池市綱引き特別展」を開催しております。

このほか、両市の経済交流を推進するために「経済交流会議」を開催しており、大曲商工会議所、大仙市商工会、秋田おばこ農業協同組合、大仙市観光物産協会などの代表者が参加し意見交換を行ったほか、夜には「大曲の花火 秋の章」を観覧いただいております。

協定締結後、青少年交流やスポーツ交流など多岐に渡る分野で親交を深めてまいりましたが、今後も両市で育んできた絆を大切に、さらなる交流の発展に努めてまいります。

次に、雪対策についてであります。

本格的な降雪期を前に、市民、事業所、行政が一丸となり、雪に負けない市民協働のまちづくりを推進するため、１１月２日、大曲市民会館において「『ゆき・まち』だいせん２０１８」を開催しております。当日は、自治会や自主防災組織の代表者、道路除雪業者、除雪ボランティア「大仙雪まる隊」など約２５０人が参加し、雪対策における先進的な取り組みを進めている岩手県^{たきざわ}滝沢市^{かみのやま}上の山自治会による講演や、除雪等の合同出動式を開催しております。

「高齢者等雪対策総合支援事業」については、昨冬の豪雪により、間口除雪における支援の課題が明らかになったことから、通路面積による段階的な支援を設定し、助成券の発行枚数や助成率を変更する一部見直しを行っております。１１月２１日現在、昨年度を上回る９３３世帯から利用申請があり、間口除雪の支援が５０６世帯、雪下ろし事業者の割当て希望が５５９世帯、これに対応する雪下ろし登録事業者が１１５事業者となっております。

また、２年間のモデル期間を経て、昨年度から本格的に実施しております「地域協働雪対策事業」については、１１月１５日現在で２５団体から事業計画が提出され、このほど交付決定を行っております。

道路除雪事業については、本年度も大曲地域を除く７地域においてプロポーザル方式

により選定された 7 共同企業体及び従来どおり選定された大曲地域 18 法人を合わせた 25 経営体と、10 月 31 日付けで業務委託契約を締結しております。

次に、部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

職員採用試験については、「大学卒業程度」に 92 人の申込みがあり、一般事務職上級 18 人、上級建築 1 人、保健師 4 人、管理栄養士 2 人、移住定住者 2 人を合わせて 27 人が合格しております。

また、「短大・高校卒業程度」には 28 人の申込みがあり、一般事務職初級 7 人、初級土木 2 人を合わせて 9 人が合格したほか、「障がい者を対象にした新たな採用枠」では 4 人の申込みがあり、2 人が合格しております。

職員の意識改革や人材育成などを図るため、今年度から進めております「民間企業との人事交流」については、平成 32 年 3 月までを期限とし、7 月に株式会社秋田銀行、10 月に東日本旅客鉄道株式会社秋田支社及び株式会社北都銀行へそれぞれ職員 1 人を派遣しております。また、各企業からも同様に社員 1 人を派遣していただき、まちづくり課、観光交流課、農業振興課の各業務にあたっていただいております。

次に、企画部関係についてであります。

移住を希望する方などを対象とした「大仙市移住促進無料職業紹介所」については、11 月 1 日にまちづくり課内に開設しております。本年度採用した移住コーディネーターが移住希望者に対して直接地域企業を紹介することにより、本市への移住促進につなげてまいります。

「秋田新幹線防災対策トンネル整備促進期成同盟会」については、11 月 14 日、仙北市長、盛岡市副市長からご参加をいただき、秋田、岩手両県選出国會議員並びに財務省や国土交通省に対して本トンネル整備の早期実現に向けた要望活動を行っており、翌 15 日には、大曲商工会議所会頭とともに、秋田県知事をはじめとする県の要望活動に同行し、官房長官及び大臣等に対し同様の要望を行っております。

次に、市民部関係についてであります。

「大仙市安全安心推進集会」については、10 月 18 日、神岡農村環境改善センターにおいて、交通安全、防犯、防災、青少年健全育成の各関係団体から約 200 人の皆様に参加をいただき、個人 4 人と 2 団体に対する功労者表彰のほか、昨年^{ひろき}の大雨による災害を踏まえ、国土交通省湯沢河川国道事務所長の岡本弘基氏から、雄物川の災害と減災

について講演をいただいております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

敬老会については、9月3日の太田地域を皮切りに15会場で開催し、3,683人の皆様から参加をいただいております。

金婚式については、10月30日に仙北ふれあい文化センターを会場に開催し、申請のあった66組のご夫婦の結婚50周年を祝福しております。

災害対策基本法に基づき作成しております「避難行動要支援者名簿」については、9月11日から市内8会場において、自治会を含む避難支援関係者に対し名簿の取扱いに係る説明会を開催したほか、169団体へ要支援者の情報を提供したところであり、災害時の適切な避難支援につなげてまいります。

次に、農林部関係についてであります。

減反制度廃止後、初となる稲作については、10月15日現在の全国の作況指数が「99」の平年並み、秋田県及び県南が「96」のやや不良と発表されております。一方で、秋田おぼこ農業協同組合の取りまとめによる本市の一等米比率は、11月19日現在で99.2パーセントとなっており、昨年同様高い水準となっております。

11回目となる「大仙農業元気賞表彰」については、10月10日、西仙北地域と中仙地域で活躍している若手農業者3人を表彰しており、これまで受賞された34人と同様、地域農業をけん引する若きリーダーとして大いに活躍されることを期待しております。

14回目となる「大仙市秋の稔りフェア」については、10月20日と21日の両日、大曲ヒカリオ広場及び花火通り商店街を会場に開催しております。天候にも恵まれ、約4万8千人のご来場をいただき、多くの皆様から稔りの秋を楽しんでいただいております。

市内産大根を活用した「いぶりがっこの産地化」に向けた取り組みについては、秋田県立大学及び秋田県総合食品研究センターとの連携のもと、市内に試験ほ場を9カ所設置し、加工用大根栽培の研究を実施しております。現在は収穫作業に加え、大根の燻し、漬け込み作業を行っており、栽培品種や土壌適正等を調査し、原料大根の生産拡大につなげてまいります。

また、いぶりがっこの産地化の取り組みを含めた六次産業や基幹作物である米のほか、市内産農作物の中で県内シェアの高いトマト、えだ豆、アスパラガス、大豆など、魅力

あふれる農業資源を最大限に活用し、「農業と食」をテーマとする新たな活性化構想の策定を計画しており、今次定例会に債務負担行為に係る予算の補正をお願いしております。

次に、経済産業部関係についてであります。

「大曲の花火 秋の章」については、10月13日に夏の全国花火競技大会と同じ会場で開催し、バラエティー豊かな劇場型花火に加え、初めての試みとなる視聴覚障がい者の方も楽しめる花火の打上げが行われたほか、JR大曲駅前では「大曲エキまつり」が開催され、多くの人で賑わっております。

14回目となる「大仙市技能功労者表彰」については、10月17日に推薦団体や議員各位をはじめ多数の方々に出席をいただき、永年にわたり本市産業の発展に尽力された優れた技能を持つ煙火製造業、電気工事業、フラワー装飾士の3分野から3人の方々を表彰しております。

また、「優良技能者表彰」については、技能五輪全国大会で入賞し、技能向上に取り組む姿勢が他の模範と認められる建築大工業の1人を初めて表彰しております。

11回目となる「大仙市首都圏企業懇話会」については、11月21日、東京都において開催し、本市に縁^{ゆかり}のある企業関係者に加え、地元選出の国会議員、ふるさと会役員、議員各位、市内商工団体の関係者など合わせて77人が参加しております。懇話会では、セイコーインスツル株式会社の半導体部門を引き継いだ「株式会社エイブリック」、協和地域稲沢に木質バイオマス発電所を整備中の「秋田グリーン電力株式会社」から、それぞれの取り組みについて講演をいただいたほか、市政報告や企業支援策の紹介を行い、参加企業の現状などについて情報交換を行っております。

次に、建設部関係についてであります。

平成元年の事業認可からおよそ30年にわたり進めてまいりました「大曲都市計画事業大曲駅前第二地区土地区画整理事業」については、7月20日に換地処分公告を行い、事業が完了しております。11月3日には、大曲中通街区公園において、地元選出の国会議員をはじめとしたご来賓など関係者75人の出席のもと、完成記念式典を開催し、記念碑の除幕式や記念植樹などのセレモニーを行っております。今後は、権利に対する清算金の徴収、または交付事務等を平成34年度まで行うこととしております。

次に、災害復旧事務所関係についてであります。

昨年、2度にわたり発生しました大雨災害に伴う「災害復旧事業」については、本年

5月の大雨による被災箇所を含め全体で188カ所、工事費にして21億582万円となっており、10月末現在で159カ所の工事を発注しております。このうち98カ所は既に完成しておりますが、8月5日の大雨により再度被災した協和地域の大盛荒川鉾山線については、11月1日に国の査定を受け、所要の手続きを進めております。

地すべりを起因とした道路災害3路線のうち、通行規制をしておりました協和地域の宮田又線については、10月30日に復旧工事が完成しております。残る協和地域の上野泉沢山線及び西仙北地域の西野寺ノ下線については、順次発注準備を進めてまいります。

本年5月18日に発生しました大雨災害に伴う復旧対応については、11月中に西仙北地域及び南外地域の山地崩落2カ所について発注しており、残る協和地域の林道災害3カ所については、年度内の早期発注に努めてまいります。

次に、教育委員会の教育指導部関係についてであります。

「大曲中学校水泳プール改築事業」については、既存プールの解体が完了し、新プールの建設を進めておりますが、11月19日に議員説明会で申し上げましたとおり、地盤改良の工法の変更などによる対策が必要になったことから、現在、事業費を精査中であり、準備が整い次第、関連する予算の補正をお願いすることとしております。

学校施設へのエアコンの設置については、猛暑による熱中症などの健康被害から児童を守るため、国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、市内小学校の空調設備を整備することとしており、今次定例会に実施設計に係る予算の補正をお願いしております。

中仙地域の学校統合については、これまで2回にわたり、地域の小・中学校、保育園及び認定こども園の保護者に対しアンケート調査を実施しており、小・中学校ともに統合を望む意見が7割を超える結果となっております。10月には調査対象者のほか、中仙地域協議会に報告したところであり、今後は、保護者、地域住民、学校関係者で構成する「中仙地域学校再編素案検討委員会」を設置し、統合に向けた検討を進めてまいります。

次に、生涯学習部関係についてであります。

第40回全県500歳野球大会については、9月23日から27日までの5日間、神岡野球場を主会場に市内18会場で開催され、全県各地から182チームが出場しております。大会初日は天候不良により日程を1日順延いたしました。その後は天候に恵

まれ、無事に大会を終了しております。なお、本大会の上位２チームは、来年７月に予定される第３回全国５００歳野球大会への出場権を得られることとなっております。

２回目となる「大仙市音楽祭」については、１１月１０日と１１日の両日、大曲市民会館を会場に開催し、延べ１，６３８人の皆様にご来場いただいております。初日は、大仙市民の歌「夢この大地」をテーマに、市内の児童生徒によるコンサートをはじめ、幅広い世代の愛好者による音楽会、山形交響楽団による本格的なオーケストラ公演を行っております。２日目は、子育て世代の応援を目的とした「０歳からのオーケストラ」に続き、地元音楽団体や個人が一堂に会するコラボコンサートを行っております。

最後に、平成３１年度当初予算編成について申し上げます。

来年度は、「第２次大仙市総合計画前期実施計画」並びに「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画最終年度であり、これまでに実施してきた事業を検証し、将来にわたり活力あるまちづくりの推進に向け、課題となっている人口減少や少子高齢化対策、公共施設の老朽化対策など、様々な課題の解決と市民の満足度向上につながる予算編成に努めてまいります。

主な事業として、「西仙北中央公民館」及び「大曲武道館」の建設のほか、継続事業であります「大曲中学校水泳プール改築事業」などが予定されている一方、「花火伝統文化継承資料館」や「広域消防本部」の建設が完了したことから、一般会計の当初予算総額は、現時点の推計で本年度当初予算を下回る４３０億円前後になるものと見込んでおります。

また、近年の当初予算では、合併特例期間の終了に伴う普通交付税の段階的な縮減などによる財源不足に対し、財政調整基金の取り崩しにより収支の均衡を図っている状況にあることから、全事務事業の総点検による見直し結果を予算編成に反映させるとともに、歳入に見合った効率的で健全な財政運営を図ってまいりたいと考えております。

なお、予算編成に当たっては「市民目線に立った事業の実施」「大仙市の将来を見据えた施策の展開」の２点を基本的な考え方とし、「少子化・人口減少対策」「地域資源の活用」「地域の人づくり」「だいせんライフの確立と発信」「防災減災対策の推進と都市基盤の整備」の五つの視点に基づき、編成作業に取り組んでまいります。

以上、諸般の状況を申し上げますが、これ以外のものについては、別添のとおり報告させていただきます。

今後とも市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まして、市政報告とさせていただきます。

【老松市長 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、日程第５、議案第９６号から日程第２２、議案第１１３号までの１８件を一括して議題といたします。

本１８件に関し委員長の報告を求めます。決算特別委員長２７番橋村誠君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、２７番。

【２７番 橋村誠議員 登壇】

○２７番（橋村 誠） ご報告申し上げます。

去る９月７日の平成３０年第３回定例会本会議第３日において当委員会に審査付託となり、継続審査となっておりました議案第９６号「平成２９年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について」から議案第１１３号「平成２９年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について」までの１８件について、１１月５日から９日までの５日にわたり委員会及び分科会を開催し、この間、担当職員の出席を求め、監査委員の審査意見書を参考にしながら、予算が適正かつ効率的に執行されているかどうか慎重に審査をいたしましたので、審査の経過及び結果についてご報告を申し上げます。

審査は、総務民生、企画産業、教育福祉、建設水道の４分科会を設置し、担当部門を決め、所管する決算について個別に審査し、疑義を質しながら軽微な改善事項については、その都度関係職員に改善等を求めて審査を行ったところであります。

また、最終日には、当局の出席を求め、各分科会から審査報告を行った後、委員会として質疑、討論、採決を行い、審査結果と意見について申し上げたところであります。

それでは、審査における意見について順次申し上げます。

はじめに、総務民生分科会について申し上げます。

１点目は、実質公債費比率は改善し、また、市債残高が減少していることは評価できる。今後も地方交付税の縮減が見込まれることから、引き続き市債発行の抑制や事務事業の見直しに努めるなど、財政指標の改善と財政運営の健全化に努められたい。

２点目は、災害やイベント等も考慮した事務事業に合った人員体制や適正な定員管理と再任用職員も含めた地域事情に精通している支所職員体制の構築など、住民サービスの低下を招かない人事配置を今後検討されたい。

3点目は、市税等の収納に関しては、収納率が向上していることは評価できる。滞納処分に関しては、未納者の生活実態を十分に調査し、実施していただきたい。

4点目は、今後も増える空き家の対策については、全庁横断的な組織で取り組んでいただき、具体的施策を早期に策定していただきたい。

5点目は、国民健康保険事業は、県単位化後も引き続き保険料の賦課徴収は市が行うことになるが、急激な市民負担増にならないよう、国保財政調整基金も含めた対応を検討されたい。

6点目は、市営墓園の管理については、今後の社会情勢にあわせた維持管理方法の検討に入られたいとの意見がありました。

次に、企画産業分科会について申し上げます。

1点目は、非核平和レポーター派遣事業について、応募者数を超えた場合は、定員以内に抑えることなく、今後も引き続き、全ての応募者を派遣できる仕組づくりを検討されたい。

2点目は、コミュニティFM行政情報番組制作委託経費について、イベントが終了した番組を再放送することにより、リスナーに混乱を招くことのないよう、再放送する場合は細心の注意を払うことを指導していただきたい。特に通勤時間帯の再放送は、同じ時間帯に何度も聴くことになるとの声がある。番組審査委員会に議会広報広聴委員長を入れていただくなど、広く市民の声が届く番組編成に努められたい。

3点目は、地域協議会のあり方について、市町村合併から10年以上が経過し、役割など再検討の必要があると思われる。地域枠予算との関わり方を含め、抜本的な改革を検討されたい。

4点目は、結びサポート事業費について、出会いイベントにおいては、カップルの成立数が多く、評価できるものである。また、出会い・結婚に関しては、幅広い年代から関心も高いことから、イベントの開催を増やし、婚姻数の増加につなげられたい。

5点目は、出羽丘陵北部区域濃密生産団地建設事業債事業費負担金に係る未収金について、事業実施から約30年が経過している。既に廃業し、年金から償還している受益者の方、あるいは子・孫が償還している状況では、早期の完納も見込まれない。そろそろ不納欠損を行う手続きを検討されたい。また、牧野として活用されていない土地の賃貸借契約についても地権者へ返還するなど、今後の活用が推進されるよう努められたい。

6点目は、企業誘致対策費について、本市の基幹産業である農業関係の業者、例えば

農畜産物加工業者などの誘致活動に努め、求職者に対する幅広い業種の雇用機会の拡大を図られたい。

7点目は、温泉施設管理費について、施設の老朽化が進み、維持管理費が増加している中、公共施設等総合管理計画の見直しを進めるに当たっては、地元との協議を重ね、理解を得られる計画の実行に努められたいとの意見がありました。

次に、教育福祉分科会について申し上げます。

1点目は、全国500歳野球大会について、経済効果があったことについては評価できる。本大会は、大仙市をPRし、全国各地から集客する良い機会であるので、県外の出場チームをさらに募集し、様々な発想で事業を見直しながら、引き続き誘致活動に努められたい。

2点目は、0歳児の入所希望者が年々増加している中、保育士の確保は重要な課題と考える。保育士を養成する大学等に出向き、市、法人の受入体制等について説明するなど、卒業予定者に対する就職の働きかけを強化するとともに、引き続き保育所等を経営する法人に対し、保育士の処遇や労働環境の改善を求め、当該法人と連携しながら保育士の確保に努められたい。

3点目は、花火伝統文化継承資料館について、月日が経過してもたくさんの方から来館いただける施設となるよう、シアターの本数や内容を充実させるとともに、展示方法を工夫し、施設周辺の風景等についても情報提供するなど、創意工夫しながら来館者の確保に努められたい。

4点目は、高齢者等雪対策総合事業について、介護老人福祉施設等に入所、またはショートステイ等により不在となっている場合にも、事業者とのマッチングができるよう検討されたい。今後、高齢者人口はますます増え、本事業の需要も増えることが予想されるが、様々な生活形態の高齢者に対して柔軟に対応できるよう、他部署とも連携しながら高齢者福祉に努められたいとの意見がありました。

次に、建設水道分科会について申し上げます。

1点目は、消雪施設等補助金について、消雪組合が高額な全体工事費の組合負担を賄いきれず、施設更新に踏み切れない組合が多いことが課題となっている。今後、施設の老朽化が進み、更新が遅れるほど全体工事費が掛かり増しになることも予想される。また、組合員の減少に伴い、組合負担分が増額になることも懸念されるので、この補助制度が有効に活用されるよう、市民に向け積極的に広報活動を推進されたい。

2点目は、水害対策に関わる内水排除の排水ポンプの設置について、配水管の口径は、過去の水害の実績により決定されている。無駄なく効率よく設置するためにも、内水箇所の水害状況等を精査の上、適切な対策を講じられたい。

3点目は、大曲駅周辺の中心市街地の区画整理事業が終了し、また、（仮称）花火の小路整備事業で「丸子の小路」を整備しているが、大曲駅からの観光客の周遊ルートを考慮するなど、他部局とも連携の上、地域全体の活性化に向け、今後の活用について検討されたい。

4点目は、下水道は市民生活に密着したインフラであり、老朽化等により施設が破損した場合、その影響は市民生活に著しく直結するので、財源の裏付けまでしっかり踏み込んだ修繕計画の策定を検討されたい。

5点目は、各下水道事業とも収入未済額が年々減少しており、使用料の徴収について鋭意努力されている姿が顕著に認められる。今後も引き続き的確な収納対策を推進されたいとの意見がありました。

以上、平成29年度大仙市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の審査意見書として議長に提出しております。

委員会において、議案第96号「平成29年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について」の質疑はなく、討論において反対意見がありました。採決の結果、出席委員の多数をもって、本決算は認定すべきものと決した次第であります。

また、議案第97号「平成29年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について」から議案第113号「平成29年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について」までの17件につきましては、質疑・討論もなく、全会一致で認定すべきものと決した次第であります。

なお、当局におかれましては、これらの意見を踏まえまして、平成31年度の予算編成への反映をはじめ、今後の各種施策の改善、また、評価された施策の推進拡大に一層努めていただくことを望むものであります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【 27 番 橋村誠議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論を行います。討論の通告がありますので発言を許します。10番藤田和久君。

（「はい、10番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、10番。

【 10 番 藤田和久議員 登壇】

○10番（藤田和久） 日本共産党の藤田和久です。私は、議案第96号、平成29年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について、反対討論を行います。

平成29年度一般会計予算審議に当たって、私たち日本共産党議員団は、国の地方財政計画に従ったものであることや市職員の削減予算であることなどから、予算案には反対したところでございます。本決算はその執行であり、認めることはできないのであります。

国の財政計画は、社会保障の自然増分の抑制という社会保障削減路線に合わせた歳出の抑制や公共施設等管理計画に基づく公共施設の統廃合、公務員の削減など、行革の一層の推進であり、地方交付税削減を狙ったものであります。加えて、地方交付税算定にトップランナー方式をさらに進め、新たに成果算定方式をとるなど、さらなる地方交付税削減が押し付けられている現状です。

こうした中、平成29年度は、2度にわたる豪雨災害が発生し、災害復旧活動並びに見舞金支給や被災者生活再建支援金などを講じたこと、災害復旧対応に当たられた職員のご労苦、過去最高の特別交付税を確保したことなどに対しては、改めて敬意を表するものであります。

現在、職員は頻発する災害警報で待機や拘束される状態が多くなり、権限移譲による事務事業量の増加、さらに各種イベントなどの増加により、年休はもとより代休も消化しきれない状況が続いていると聞いています。職員の傾斜配置や機構改革で改善可能な部分もあるかもしれませんが、基本的には正規職員が不足しているものと感じております。職員の削減ではなく、正規職員の増員を求めるものであります。

以上を申し上げて反対討論といたします。

【 10 番 藤田和久議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、19番、高橋徳久君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、１９番。

【１９番 高橋徳久議員 登壇】

○１９番（高橋徳久） だいせんの会の高橋徳久でございます。私は、議案第９６号、平成２９年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定につきまして、賛成の立場から意見を述べさせていただきます。

平成２９年４月、老松市長が新たな舵取り役として市長に就任され、「明日の大仙を拓く新たなチャレンジ」というスローガンを掲げ、「大仙市の全ての地域をすみずみまで元気にするまちづくり」「市民が住み良さを実感し、将来に希望が持てるまちづくり」の二つの柱のもと、老松市政が始まりました。

就任１年目となる平成２９年度の決算につきましては、重要施策である産業振興・雇用、農業振興、地域振興、子育て支援、健康・福祉事業、防災・雪対策事業、教育の推進をはじめとした各種事業に積極的に取り組まれ、厳しい予算の中、住民ニーズに沿った事業を展開し、有効活用された決算と見受けられます。

財政の面では、普通交付税の減額による財源不足を補うため、財政調整基金を１２億取り崩すことになったものの、結果として６億積み増しできたことは、評価に値するものと思います。

また、市債発行の抑制や事務事業の見直しなどにより、実質公債費比率、将来負担比率は、前年度と比べて改善されており、財政の健全化に取り組んでいることが伺えます。

地方交付税の減額などにより大変厳しい予算執行の中、市民の福祉の向上のためにご尽力された職員の皆様に対し、心から敬意と感謝を表する次第であります。

本決算について、国による地方財政計画に従っているから、あるいは市職員の定員適正化計画に基づく削減予算の執行であるから反対というご意見があるようですが、地方財政は国の社会保障関係費や国債費が年々増加していることから地方交付税が減少しており、その分、身の丈に合った予算執行でなければならないものと思います。

また、職員削減はまかりならんと言いますが、この地域の人口が減少しているという現実に鑑みれば、適正化計画を立て、それに沿って執行していくのは当たり前のことと思います。さらに、行政サービスに支障を来たすとも言われますが、何でも行政任せという時代は、徐々に変わってきていると思いますし、変えていかなければいけない、ならないことだと考えます。

自助、互助、共助、公助とありますが、その在り方を市民がもっと自覚するようにな

れば、必然的に行政サービスの在り方も変わってくるものではないでしょうか。それが私たち市民が、今後、行政と向き合っていくための基本的なスタンスになると私は考えるものであります。

こうした意味において、現在市が取り組んでおられる財政運営の方向性は決して間違っておらず、私たち議会も一緒になって取り組んでいかなければならないと思います。

以上、平成２９年度大仙市一般会計歳入歳出決算に対する評価と、今後の行政の有り様に関する私の考えの一端を申し述べさせていただきましたが、市当局におかれましては、市民生活の安寧のために引き続きご努力されることをご期待申し上げまして、私の賛成討論といたします。

【１９番 高橋徳久議員 降壇】

○議長（茂木 隆） ほかに討論の通告がありませんので、これにて討論を終結いたします。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第９６号を採決いたします。
この採決は起立をもって行います。本件に対する委員長報告は認定であります。本件は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者２５人 起立）

○議長（茂木 隆） 起立多数であります。よって本件は、認定することに決しました。

次に、ただいま議題となっております案件中、議案第９７号から議案第１１３号までの１７件を一括して採決いたします。本１７件に対する委員長報告は認定であります。本１７件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本１７件は、認定することに決しました。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第２３、議案第１１７号から日程第３６、議案第１３０号までの１４件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。老松市長。

【老松市長 登壇】

○市長（老松博行） 議案第１１７号から議案第１２３号までの内小友財産区管理会財産区管理委員並びに議案第１２４号から議案第１３０号までの大川西根財産区管理会財産

区管理委員の選任につきまして、ご説明申し上げます。

本 1 4 案は、両財産区の委員の任期が平成 3 1 年 2 月 7 日をもって満了することから、その後任として、内小友財産区の委員 6 人並びに大川西根財産区の委員 5 人は再任とし、内小友財産区の打川忠一氏の後任といたしまして三浦茂氏を、大川西根財産区の深谷和義氏並びに佐藤準氏の後任といたしまして進藤^{ほうせい}峰晴氏並びに佐藤誠氏を新たに選任するため、内小友財産区管理会条例並びに大川西根財産区管理会条例の規定により、議会の同意を求めるものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご同意賜りますよう、お願いを申し上げます。

【老松市長 降壇】

○議長（茂木 隆） これより質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本 1 4 件については、会議規則第 3 7 条第 3 項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本 1 4 件は、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 討論なしと認めます。

これより議案第 1 1 7 号から議案第 1 3 0 号までの 1 4 件を一括して採決いたします。本 1 4 件は、同意と決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本 1 4 件は、同意することに決しました。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第 3 7、議案第 1 3 1 号から日程第 4 3、議案第 1 3 7 号までの 7 件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。舩谷総務部長。

【舩谷総務部長 登壇】

○総務部長（舩谷祐幸） はじめに議案第１３１号、大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定につきまして、ご説明申し上げます。

お手元の資料ナンバー１、議案書の１５ページから２８ページまでをお願いいたします。

本案は、人事院勧告を受けた国の一般職の職員の給与改定に倣い、本市一般職の給与を改定するものであります。

平成３０年度の給与改定につきましては、給料を平均０．２パーセント、また、１２月期の勤勉手当を０．０５月分引き上げる改定を行うものであります。

また、医療職給料表（一）の適用を受ける職員、具体的には市立大曲病院の医師４名に支給する初任給調整手当の月額を４００円引き上げ、支給月額を３６万８，８００円にするほか、通常の宿日直手当の額を２００円引き上げ４，４００円に、医師の宿日直手当の額を１，０００円引き上げ２万１千円にするなどの改定を行うものであります。

平成３１年度の給与改定につきましては、６月期と１２月期の期末手当及び勤勉手当の支給配分の見直しを行うものであります。

これらの条例改正は、所要の経過措置を設け、平成３０年度給与改定については公布の日から施行し、平成３０年４月１日からの適用、また、平成３１年度給与改定については平成３１年４月１日に施行するものであります。

続きまして、議案第１３２号、大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例並びに議案第１３３号、大仙市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定につきまして、一括してご説明申し上げます。

議案書の２９ページから３３ページまでをお願いいたします。

本２案は、一般職の給与改定に倣い、議員並びに常勤特別職に係る平成３０年１２月期の期末手当を０．０５月分引き上げるとともに、平成３１年度期末手当の支給配分の見直しを行うものであります。

平成３０年度の期末手当の引き上げは公布の日から、平成３１年度期末手当の支給配分の見直しにつきましては、平成３１年４月１日から施行するものであります。

続きまして、議案第１３４号、平成３０年度大仙市一般会計補正予算（第５号）につきまして、ご説明申し上げます。

お手元の資料ナンバー２、大仙市補正予算〔１２月補正①〕をご覧ください。

1 ページをお願いいたします。

今回の補正予算は、人事院勧告及び人事異動等に伴う人件費などにつきまして補正をお願いするもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ7, 212万6千円を追加し、補正後の予算総額を461億5, 105万8千円とするものであります。

補正予算の概要につきまして、事項別明細書により歳入から順にご説明を申し上げます。

8 ページをお願いいたします。

19 款繰越金は、前年度繰越金として7, 212万6千円の補正であります。

続きまして、歳出につきましてご説明申し上げます。

1 款議会費の議員報酬・期末手当及び共済費は、人事院勧告に倣いまして期末手当分として、70万2千円の補正であります。

次に、一般職及び常勤特別職に係る人件費であります。1 款議会費から、予算書19 ページの11 款災害復旧費までの職員人件費及び特別職人件費並びに人件費に係ります各特別会計繰出金につきましては、人事院勧告や人事異動及び共済費の負担率改正に伴い、総額で7, 142万4千円の補正であります。

続きまして、特別会計についてご説明を申し上げます。

今回の各特別会計の補正予算は、一般会計と同様に職員人件費につきまして補正をお願いするものであります。

23 ページをお願いいたします。

議案第135号、平成30年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出の予算総額からそれぞれ34万7千円を減額し、補正後の予算総額を79億3, 379万6千円とするものであります。

続きまして、33 ページをお願いいたします。

議案第136号、平成30年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出予算の総額に、それぞれ295万5千円を追加し、補正後の予算総額を9億57万1千円とするものであります。

続きまして、43 ページをお願いいたします。

議案第137号、平成30年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出の予算総額からそれぞれ914万8千円を減額し、補正後の予算総額を10億5, 186万7千円とするものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

【舩谷総務部長 降壇】

○議長（茂木 隆） これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております議案第131号から議案第137号までの7件は、議案付託表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第44、議案第138号から日程第46、議案第140号までの3件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。今野上下水道事業管理者。

【今野上下水道事業管理者 登壇】

○上下水道事業管理者（今野功成） 議案第138号から議案第140号につきまして、ご説明申し上げます。

お手元の資料ナンバー2、大仙市補正予算〔12月補正①〕の53ページをご覧くださいます。

議案第138号、平成30年度大仙市上水道事業会計補正予算（第1号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、給与改定及び人事異動に伴う職員給与費の減額補正であります。

第2条収益的支出の補正として、予算に定めた職員給与費から2,166万2千円を減額補正し、補正後の額を6億4,361万9千円とするものであります。

続きまして、65ページをお願いいたします。

議案第139号、平成30年度大仙市簡易水道事業会計補正予算（第2号）につきまして、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、同じく給与改定及び人事異動に伴う職員給与費の補正であります。

第2条収益的支出の補正として、予算に定めた職員給与費に246万8千円を補正し、補正後の額を12億4,028万円とするものであります。

続きまして、77ページをお願いいたします。

議案第140号、平成30年度大仙市下水道事業会計補正予算（第2号）につきまして

て、ご説明申し上げます。

今回の補正予算は、同じく給与改定及び人事異動に伴う職員給与費の減額補正であります。

第2条収益的支出の補正として、予算に定めた職員給与費から751万4千円を減額補正し、補正後の額を29億3,987万9千円とするものであります。

また、第3条資本的支出の補正として、予算に定めた職員給与費から140万7千円を減額補正し、補正後の額を26億3,846万7千円とするものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

【今野上下水道事業管理者 降壇】

○議長（茂木 隆） これより質疑を行います。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております議案第138号から議案第140号までの3件は、建設水道常任委員会に付託いたします。

○議長（茂木 隆） この際、常任委員会審査のため、暫時休憩いたします。再開時刻は、後程ご連絡いたします。

午前11時05分 休 憩

午後 1時00分 再 開

○議長（茂木 隆） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長（茂木 隆） 日程第37、議案第131号から日程第39、議案第133号までの3件を再び議題といたします。

本3件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長23番金谷道男君。

（「はい、議長、23番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、23番。

【23番 金谷道男議員 登壇】

○総務民生常任委員長（金谷道男） ご報告いたします。

当常任委員会に審査付託となりました事件につきまして、本会議休憩中に委員会を開催し、関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果について、ご報告いたします。

議案第１３１号「大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、質疑において委員から「今回の給料表の改正により、平均０．２パーセント引き上げられたが、引き上げ内容はどうか。」との質問には「傾向として年齢が高い層には薄く、子育て世代などの若い世代には厚い改定となっている。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第１３２号「大仙市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」及び議案第１３３号「大仙市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について」の２件は、一括して審査いたしました。

当局の説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本２件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【２３番 金谷道男議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 討論なしと認めます。

これより、議案第１３１号から議案第１３３号までの３件を一括して採決いたします。本３件に対する委員長報告は原案可決であります。本３件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本３件は、原案のとおり可決されま

した。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第４０、議案第１３４号から日程第４６、議案第１４０号までの７件を再び議題といたします。

本７件に関し、各委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長２３番金谷道男君。

（「はい、議長、２３番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、２３番。

【２３番 金谷道男議員 登壇】

○総務民生常任委員長（金谷道男） ご報告いたします。

議案第１３４号「平成３０年度大仙市一般会計補正予算（第５号）」、議案第１３５号「平成３０年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）」及び議案第１３６号「平成３０年度大仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）」の３件につきましては、当局の説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本３件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【２３番 金谷道男議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、教育福祉常任委員長１３番小松栄治君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、１３番。

【１３番 小松栄治議員 登壇】

○教育福祉常任委員長（小松栄治） 休憩前の本会議において、当委員会に審査付託となりました事件につきまして、委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過と結果について報告いたします。

議案第１３４号「平成３０年度大仙市一般会計補正予算（第５号）」のうち、当委員会に審査付託となりました所管する補正予算及び議案第１３７号「平成３０年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第１号）」につきましては、当局からの補正内容の説

明を了とし、質疑及び討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本２件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【１３番 小松栄治議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、建設水道常任委員長７番石塚柏君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、７番。

【７番 石塚柏議員 登壇】

○建設水道常任委員長（石塚 柏） ご報告いたします。

休憩前の本会議において、当委員会に審査付託となりました事件につき、本会議休憩中に委員会を開催し、所管関係部長の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果について、ご報告いたします。

議案第１３８号「平成３０年度大仙市上水道事業会計補正予算（第１号）」、議案第１３９号「平成３０年度大仙市簡易水道事業会計補正予算（第２号）」及び議案第１４０号「平成３０年度大仙市下水道事業会計補正予算（第２号）」の３件につきましては、関連することから一括で審査いたしました。

委員から「給与改定と人事異動による補正であるが、給与改定の方は給料表の改定と勤勉手当の改定で増額になっているにもかかわらず、三つの企業会計のうち二つが減額補正になっているのは、その分は人事異動で他の部署に異動したということか。」との質疑があり、当局からは「当初予算で計上した時点より、人員が他部局へ異動したため減額になったのが大きな理由である。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本３件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上、報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【7番 石塚柏議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 討論なしと認めます。

これより議案第134号から議案第140号までの7件を一括して採決いたします。
本7件に対する委員長報告は原案可決であります。本7件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本7件は、原案のとおり可決されました。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第47、議案第141号から日程第53、議案第147号までの7件を一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。舩谷総務部長。

【舩谷総務部長 登壇】

○総務部長（舩谷祐幸） 議案第141号、大仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定につきまして、ご説明申し上げます。

資料ナンバー1、議案書の34ページと35ページをお願いいたします。

本案は、国において、農業委員会による農地利用の最適化に向けた積極的な活動を推進するため、農業委員会の活動実績に応じて交付金を交付する農地利用最適化交付金事業を実施しており、本市においてもこの交付金事業を活用し、農業委員会による農地利用の最適化に向けた活動を促進するため、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の通常の報酬に加え、それぞれの活動及び成果の実績に応じて支給する能率給を支給することができることとするものであります。

能率給は、農地利用最適化交付金の交付の範囲内で規則に定めるところにより算定するもので、平成31年4月1日から施行するものであります。

続きまして、議案第142号、秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更につしまし

て、ご説明申し上げます。

議案書の３６ページと３７ページをお願いいたします。

本案は、本市が加入する秋田県市町村総合事務組合において、同じく構成団体である大仙美郷環境事業組合が平成３１年３月３１日をもって解散することに伴い、秋田県市町村総合事務組合規約の一部を変更する必要があることから、地方自治法の規定に基づき同組合規約の一部変更について関係地方公共団体と協議を行うことについて、議会の議決を求めるものであります。

続きまして、議案第１４３号から議案第１４６号までの公の施設の指定管理者の指定に係る４案につきまして、一括してご説明申し上げます。

議案書の３８ページから４１ページまでをお願いいたします。

本４案は、今年度をもって指定管理期間が終了する施設の指定管理者の指定について、議会の議決を求めるものであります。

はじめに、議案第１４３号、協和モーターサイクル場の指定管理者の指定につきましては、秋田県モータースポーツ振興会に、議案第１４４号、南外体育館等の指定管理者の指定につきましては、厚生ビル管理株式会社に、議案第１４５号、ふれあい体育館等の指定管理者の指定につきましては、株式会社オーエンスに、議案第１４６号、南外ふれあいパークの指定管理者の指定につきましては、厚生ビル管理株式会社に、それぞれ指定管理させるものであります。

指定管理期間は、議案第１４３号の「協和モーターサイクル場」については、平成３１年４月１日から平成３４年３月３１日までの３年間、その他の施設については、平成３１年４月１日から平成３６年３月３１日までの５年間であります。

続きまして、議案第１４７号、平成３０年度大仙市一般会計補正予算（第６号）につきまして、ご説明を申し上げます。

お手元の資料ナンバー３、大仙市補正予算〔１２月補正②〕をご覧願います。

１ページをお願いいたします。

今回の補正予算は、市内小学校空調設備設置に係る実施設計費や小・中学校各種大会派遣費補助金などにつきまして補正をお願いするもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ５，２５４万９千円を追加し、補正後の予算総額を４６２億３６０万７千円とするものであります。

４ページをお願いいたします。

債務負担行為の補正につきましては、新年度早々から取り組むため、財務会計システムに係る電子計算システム更新経費及び活性化基本構想の策定に係る農業と食に関する基本構想策定事業費のほか、雪解け後の道路等の維持補修を速やかに行うための道路維持管理費及び交通安全施設整備費、また、大仙市南外体育館など3件の指定管理料について債務負担行為の追加をお願いするものであります。

補正予算の概要について、事項別明細書により歳入から順にご説明を申し上げます。

8ページをお願いいたします。

14款国庫支出金は、国民年金事務委託金として216万6千円の補正、15款県支出金は、災害弔慰金等負担金及び秋田県議会議員選挙費委託金として866万8千円の補正、19款繰越金は、前年度繰越金として3,052万2千円の補正、20款諸収入は、光伝送路工事費補償金として369万3千円の補正、21款市債は、小学校施設整備事業債として750万円の補正であります。

続きまして、歳出であります。

10ページになります。

2款総務費は、1,160万2千円の補正であります。

内容といたしまして、超高速情報通信基盤設備管理費は、県で実施している協和地域下淀川地区のほ場整備事業の施工に伴うケーブル移設工事に係る経費としまして480万9千円の補正、秋田県議会議員選挙執行経費は、統一地方選挙の日程が前倒しになる見通しとなったことから、期日前投票などに係る経費としまして679万3千円の補正であります。

3款民生費は、1,728万7千円の補正であります。

内容といたしまして、保育所等施設型給付費返還金は、平成29年度給付費の各種加算について、要件を満たさず、加算が適用とならない施設があったことから、実績額に伴う返還金として1,262万1千円の補正、国民年金費事務費は、国民年金制度の改正に伴うシステム改修経費として216万6千円の補正、災害救助扶助費は、平成30年2月の大雪の際、雪下ろし作業中に誤って屋根から転落し、重傷を負った方に対し、今回障害の程度が固まったことから災害障害見舞金が支給されることになったもので、250万円の補正であります。

12ページになります。

4款衛生費は、保健事業費として、来年度からの健診申込方法変更に係る健康管理シ

ステム改修経費として２３７万６千円の補正であります。

７款商工費は、協和地区温泉管理費として、９月に実施した四季の湯浴室天井張替え工事期間中、浴室を使用できず減収となったことに伴う補填経費としまして２７２万円の補正であります。

１４ページになります。

８款土木費は、住宅リフォーム支援事業費として、環境対策工事等の増加によりまして実績見込額が当初予算額を上回ることから、補助金の不足見込分としまして５００万円の補正であります。

最後に１０款教育費は、１，３５６万４千円の補正であります。

内容としまして、校舎等維持補修及び施設整備費は、市内小学校２１校のうち９校の普通教室に空調設備を設置するための実施設計委託料として、７５５万３千円の補正、教育振興費補助金は、小・中学校の部活動における全県・東北及び全国大会出場に係る派遣費補助金の不足見込分として、小学校費においては１２４万１千円の補正、中学校費においては４７７万円の補正であります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いを申し上げます。

【舩谷総務部長 降壇】

○議長（茂木 隆） これにて、本定例会に上程された議案についての説明が終了いたしました。

○議長（茂木 隆） お諮りいたします。議案等調査のため、１１月２８日から１２月５日までの８日間、休会いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって、１１月２８日から１２月５日までの８日間、休会することに決しました。

○議長（茂木 隆） 以上で本日の日程は、全て終了しました。

本日はこれをもって散会し、来たる１２月６日、本会議第２日を定刻に開議いたします。

ご苦労様でした。

午後 1 時 2 2 分 散 会

